本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧

発行所
全国婦人新聞社
〒160本社東京都新宿区西新宿3-7-28　宝幸西新宿ビル
電話　03(343)1846(代)
FAX　03(348)1890
振替口座　東京(5)172320

全国婦人新聞

ご購読料
1年　4,500円
（郵送料900円を含む）
現金・切手・振替で前納
月3回発行
10日・20日・30日

Asahi
LIVE ASAHI FOR LIVE PEOPLE
コクがあるのに、キレがある。
うまさが違う。酵母が違う。
ASAHI生BEER

女性憲章を制定

東京で初めて。三鷹市で

個人の尊厳と男女平等を基本理念として一月一日付で告示

平和な社会を願って
積極的参加を呼びかける

女性に関する課題の解決へ

東京・三鷹市（坂本貞雄市長）では、東京都では初めての『女性憲章』を制定、一月一日付で告示した。

憲章は、個人の尊厳と男女平等を基本理念とし、あらゆる分野へ男女が平等に参加することを目的としている。

国連総会は、一九七五年を「国際婦人年」と定め、〝平等・発展・平和〟の三つの目標をあげた。この目標を達成するために、メキシコ・国際婦人年世界会議で「世界行動計画」を採択したことは、いまさら言うまでもない。

わが国でも、政府レベルの「国内行動計画」が、そして、各自治体レベルでも次々に〝婦人行動計画〟が策定された。

三鷹市でも、婦人行動計画策定のため、一九八三年十月〝三鷹市婦人行動計画案検討市民会議（中島通子会長＝弁護士）〟が発足した。

女性憲章は、同会議が翌年十一月に提出した「〝三鷹市婦人行動計画〟策定への提言」の中に、推進に関する提言として、出されたものだ。

提言を受けた三鷹市では、一九八五年に、市民会議の提案の主旨を生かした三鷹市婦人行動計画「女性の自立と男女平等のために」を策定した。

その中には、(1)男女平等意識の醸成と豊かな人間性の育成(2)女性の社会参加とコミュニティの醸成(3)働く女性の社会的環境の整備と家庭生活の安定・向上(4)女性の健康増進と母性の保護(5)希望にみちた女性の福祉の増進、の五つの課題があげられている。

この課題（婦人問題に対する基本的な理念）について、市民が共通の理解と目標を持つために「女性憲章」が必要であると、制定に向けて動き始めた。庁内をはじめ、三鷹市婦人問題懇談会、三鷹市婦人行動計画推進助言者会議などで検討がなされ、それを基に市がまとめたものだ。

同憲章は前文と五カ条から成っている。

前文は「わたくしたちは、個人の尊厳と男女平等を基本理念とし、あらゆる分野へ男女が平等に共同参加し、ともに生きるまちづくりをすすめることによって、平和な社会をつくることを願い、この憲章を定めます」と説明し、次の項目をあげている。

(1)男女平等教育を家庭、学校、社会のすべての分野で推進します。

(2)男女がともに責任をになう家庭、地域、社会をつくります。

(3)差別されずに働く権利がすべての女性に保障される社会をつくります。

(4)母性の保護と健康増進がすべての女性に保障される社会をつくります。

(5)すべての女性が自立して生きることのできる福祉社会をつくります。

同市は、「この憲章は、婦人行動計画推進の指針となるだけでなく、市民みずからの参加と行動の指針となるもの」とし、今後、各種事業や刊行物などを通じて市民へPRし、理解を求めていくという。

その第一弾として、『女・男ともにつくる明日』これからの女と男のかかわり方、家族のあり方を考えてみませんか――を三回のシリーズで行う。

第一回の講演『男と女の近未来』は、一月二十二日に終ったが、二回、三回の日程は次の通り。

二月二十日、福祉会館。『脱近代の家族論』と題した評論家・宮迫千鶴さんの講演。三月五日、公会堂別館一階会議室。パネルディスカッション『私が考える男女平等』（いずれも時間は、午後一時半から四時まで）。

女性もいろんな職場に進出してきたが…

中西珠子さんを励ます会

お礼の言葉を述べる中西さん。中央（右から4人目）

参議院議員の中西珠子さんの活躍をねぎらい、今後の活躍を期待し励ましそうと「中西珠子さんを励ます会」が、二十三日（土）、東京・虎の門の東京農林年金会館・虎の門パストラルで開かれた。

「励ます会」を仕掛けたのは、中西さんの後援会・真珠の会と各界の友人たち有志。

中西さんは、一九八三年（昭五八）に、公明党の推薦で参議院議員に立候補し、当選。以来、パート労働法の草案づくり、婦人差別撤廃条約批准をめざしての男女雇用機会均等法案、育児休業法案、国際開発協力基本法と、次々と法案を国会に提出。

「力の政治」に対して、専門的知識や経験を生かした「政策優先の政治」の確立に努力している議員として知られている。

また、ILOに二十三年間勤めた経験から、国際的な視野から、働く女性たちの問題に取り組み、昨年の夏、労働基準法改正案に反対して東京・千代田区公会堂で「労基法改悪、女性泣かせの変形労働時間に反対する会」という集会を開いたことは記憶に新しい。

この日会場には、中西さんを支援する人、約三百五十人が集まり、今後の活躍を願って激励した。

紫色のロングドレスに身を包み、挨拶に立った中西さんは、基本的人権を守り、世界中の人々の労働条件、生活条件を引き上げて、社会正義を実現してこそ、恒常的な平和が確立できるというILOの精神は、私の体にしみついている。これを国内外で何としても実現したいと努力している」と開口一番。

婦人問題、労働問題、社会福祉、社会保障、老人問題などさまざまな問題が山積している今、平和憲法を守り、世界のどの国とも平和的な共存共栄を図ること以外、日本の行く道はないと思っていると話す。

また、海外援助について触れ、ただお金をあげたり、食糧をあげることが援助ではないと述べ、「その国の経済的、社会的発展の役に立ち、草の根の人のところにも潤いが届くように、特に婦人や子どもにも届く援助をしていくことが、日本の国際的責任ではないか」と問いかける。

功績、人柄をたたえる
超党派で政策優先に尽す

日本のODA予算は、年々増え、金額の上では世界一と言われるが、その中身についての評判はよくない。

「政府開発予算は国民の血税、途上国の一部の支配層だけが潤う援助ではなく、途上国の人々が心から喜ぶような援助を」と述べ、国会に提出し継続審議中の国際開発協力基本法案に、今後も国民の意見をもっと反映してよりよいものにしたいと、国際協力の面での意欲を示した。

そして「国民生活の向上、日本が国際的に経済大国にふさわしい、さすがは日本だと言われる国際経済協力、文化協力、あらゆる面での協力をするためにも、世界的な平和を樹立していくためにも、よりよき日本、よりよき世界の建設のためにも一層の努力する決意をしている」と抱負を述べ、満場の喝采を浴びた。

この日のお祝いに駆けつけた公明党の大久保直彦書記長は、「今年はある意味で、中西先生にとって最もすばらしい年の一つになると思う」と述べ、中西さんの功績を人柄をたたえた。

中西珠子さんを励ます会

海外通信

私のバスク物語 ⑦

狩野美智子

スペインの中でも、フランスの中でも、バスクの田舎の家は独特です。

典型的な田舎の家

田舎の家（カセリオ）
素朴で〝独特の味わい〟

がっしりと大きくて、オレンジ色の瓦屋根がしっかりかぶさり、大きなアーチ型の入口、両横の窓、二階の窓からはバルコニーが張り出しその上に三階の窓があります。中に入ってみたいなと、いつも思っていました。

三年前にビルバオで友達になったエドルネから、あなたの行きたいところに連れていってあげる、と言われた時、ためらわず、田舎の家に行きたいといいました。

連れていってもらったのは、エドルネのお母さん（この方もエドルネという名前です）の生家です。ビルバオから車で四十分位、ゲルニカのちょっと手前のムヒカという村でした。街道から細い道を少し上っていったウスパリチャ地区に、そのお家はありました。お家の名前を「ハウレギ」といいます。バスクの田舎の家には、それぞれ名前がついているのです。

お家に着くと、たくさんの方々に紹介されて、最初はどなたがどなたやら？動めから帰った息子さん、学校の先生をしている息子さんの奥さん、その子供さんたち、遊びに見えていた親戚の方など。

やがて、刈った草を一杯にした荷車をロバに引かせ、ご主人のサビンさんが庭に姿を現わしました。家の横に荷車をつけ、刈った草を二階の窓から入れるのです。奥さんが中にいて手伝っています。家のその部分が納屋として使われているのでしょう。

お家は、一階の三分の一ほどが台所と貯蔵室、道具部屋でした。貯蔵室には大きな甕がいくつもあって、自家製のチョリソ（腸詰の一種）がびっしりとつまり、蓋をとって見せて下さると、いい匂いが芋のぼってきました。棚にはこれも自家製のりんご酒の壜が並び、天井からは燻製の腿肉がぶら下り、壁には干したピーマンや玉ねぎが下っています。

貯蔵室を出てつき当りの戸を開けると、うす暗い土間になっていて、大きな囲いの中に牛が数頭、ロバ、山羊、羊、それに鶏の囲いまでありました。カセリオの一階の三分の二は家畜の家なのでした。

人間の住む空間は二階です。そして、普通は三階が干し草場なのですが、このお家では二階の一部に干し草場があり、三階は結婚した息子さん夫婦のお部屋や子供部屋でした。

街道から入る小道の両側の斜面一帯がこのお家の牧場です。バスクの地形は、なだらかな斜面がいくつもいくつも重なり合って、緑の草地が天然の牧場になっているところが多いのです。牧場の一部、お家に近いところが畑になっていて、トマトやピーマンがよく実っていました。自家用にする以外は、毎月曜日に開かれるゲルニカの市に持っていって売るのです。エドルネのお母さんが子供の頃は、兎も飼っていて、よくゲルニカの市に持っていったそうです。ゲルニカ爆撃の日、この村から市に出て空襲に遭った人も多いのだと聞きました。

ロバをひくサビンさん

サビンさんも、奥さんのボニさんも、にこにことおだやかな笑顔で私たちを迎えて下さったのですけれど、どちらかというと、バスク人としては無口で静かな方のようでした。

彼のお父さんは、有名な即興詩人（ベルチョラリン）ケパ・エンベイタです。七人の子供の中から、次男のサビンを後継ぎに決めました。バスクのこのあたり（ビスカヤ）では、親は子供たちの中から、家を継がせるのに最もふさわしい子に、継がせるのだと、エドルネから聞きました。

同じバスクでも、ギプスコアでは、長子相続だと最近まで東大に留学していたアイトールから聞いたことがあります。男女にかかわらず、長子が相続するのが、バスクの古い慣習だったようです。ただ、家に残って農業を継ぐということが相続することが、魅力のない選択になりつつあるのが現状のようです。現にこのお家の子供達は皆他に仕事を持っているのです。

一日の仕事を終えたサビン夫妻、その子供たち、入口の石を敷いた土間に椅子を出し、りんご酒をごちそうになりました。暮れなずむバスクの田舎の風景の中でいただくものとして、これ以上さわいしいものはなく、あの素朴な味わいを、私は今、なつかしく思いだしています。

〝あなたも参加を〟
東京都婦人情報センター　利用団体の連絡会

女性が社会参加するためには、情報の提供が大切と、東京都婦人情報センターがオープンして九年になる。

日比谷図書館から、現在の飯田橋（新宿区）のセントラルプラザに移転して三年目になるが、足場のいいこともあって、同センターを拠点にして活動する団体数もだんだん多くなり、今年は二五団体が利用しているという。

その、利用団体による連絡会「わたしたちこんなことをしています、あなたも参加しませんか」が、一月二十三日、同情報センターで行われた。

情報センターを利用している団体同士の横のつながりを深めるとともに、団体の活動内容を参加しませんか〟と、まだ活動始めていない人達や他国体にも呼びかけようという狙い。約二十団体がピーアール報告を行った。

その中のいくつかの活動を紹介すると――

「自然育児友の会」は、スタートして五年目、二三〇人の会員がいる。

最近、出産しても乳が出ず母乳で子供を育てられない母親が多くなった。なぜか……という疑問から調べていくうち〝食べ物〟に原因があることが分った。肉類や甘い物、油こいもの、添加物の多い加工品を減らし、祖母の時代の人々が食べていた、日本の伝統的な食事をすれば乳も出るし、子供も元気、母親も元気になる。食生活を出発に子供、幼稚園・学校問題、農業や原発問題まで幅の広い活動を行っている。子どもの問題に関する団体では、この他、「保育園を考える親の会」「あんふぁんて」「幼稚園一一〇番」などが発表。

福祉について考えよう、特に高齢化社会の問題は、誰しとりとして他人の問題でなく自分自身の問題のはずだ、と呼びかけるのは「テーブルを囲む会」。一人一人が高齢化社会の担い手となれるよう介護のやり方を身につけておこう。そのために自分の自立、友人との付合い方、地域づくり、多くの団体とのネットワークが必要と訴えた。他に、福祉ボランティアでは、東京都の衛生局公衆衛生部母子衛生課・在宅重症心身障害児訪問看護事業に携わる看護婦、約六十名で作った「しおんの会」、都内在住、勤務する歯科衛生士によって組織される「社団法人・東京都歯科衛生士会」など。

東南アジア問題を考える団体として「SEA南南アジア滞在経験者の会」「アジアの女たちの会」が、また、女性問題、生涯学習問題に関係する団体では「水曜会」「生涯学習研究会」「Weの会」「女性問題研究会」「東京婦人問題協議会」「東京都婦人教育研究会」「国際女性の地位協会」などがピーアールした。

この他、「リウマチ」について学習している団体や「ことば」について勉強している団体もあり、女性たちが幅広い分野で活動していることが伺えた。

この後、発表団体と参加者による話し合いが行われた。

自然育児友の会の会員から「私達はゼロ歳から五歳までの子供を持つ親が中心になって活動している。集会には、この婦人情報センターを使わせてもらっていたが、子供の声がうるさい、子供が廊下を走るなどの苦情があって、使用禁止にさせられているが、使わせて欲しい」という要望が出された。同情報センターには、保育室があるものの、センターの主催事業の時にのみ専門の保母がつく。保育室は平日でも使えるが、防音が完全でないため、子供の声が隣の学習室にも聞こえることから苦情が出されたようだ。

「生涯学習を言うなら子供もその中に含まれるはず。それをうるさいというのはおかしい」「外国と違うのは、日本は子育てを母親一人でやっている感じがすること。公共の場に子供を連れていくのは遠慮しなければという雰囲気がある」「私が名古屋にいた時、女性の参加をいいながら、行政が、子育て中の母親たちが参加できるような配慮をしていないと、各グループの長が立ちあがり、行政側の女性の職員も一緒になって、保育室を作る運動した。保育は、各グループ同士の協力で行った。この様に、行政には何ができるか、自分たちは何ができるかを両方で話しあい、子供を共に育てるという方向に進めないか」「うるさいから使うなでは解決にならない」「保育以外の点でも、センターが一方的にリードしていくのではなく、利用者と一緒に考え、共同で作っていく、私達が利用しやすいセンターにしてほしい」などの意見が出された。婦人の運動を強力なものにしていくには、ネットワークが大切と言われて久しい。改めてネットワークついて考えてみる必要がありそうだ。

活発な活動を展開する女性グループ

婦人手帳

☆★☆丸岡秀子先生に昨年暮、ご著書「声は無けれど」を頂いた。最愛の娘さんに先立たれた思いを書かれたご本である。人の死はどれもみな哀しいものだが、わけても子に先立たれるほど辛いものはない。本来、子にみとられるべき親が――。わけても、丸岡先生の場合、長女の明子さんは、先後十カ月で父を失って以来、丸岡先生と苦楽をともにし、願いを一つにしていた、同志のような間柄だった。

★☆★私は、丸岡先生から本を頂くのも申しわけないような関係で、一度、無理をお願いして講演に来て頂いただけの知りあいである。その折、頂いたお手紙に、私が原爆で死んだ友のことを書いた本のことにふれ、〝娘を亡くして、ひとしお原爆で子を失った親御さんの気もちがわかるような気がします〟とあり、私はハッとしたものだ。

☆★☆丸岡先生の文章に「キューリー夫人の慟哭」というものがある。（丸岡秀子評論集「キューリー夫人の慟哭」＝未来社）キューリー夫人が、その最高の夫を交通事故で失ってどんなに悲しんだかが書かれている。キューリー夫人伝を読んでも、その輝かしい業績、あるいは仕事もし立派に子育てもした、女の先輩としての偉さのみに目が行っていた私は〝厳しい別れ〟の意味、人間の〝情〟ということについて、改めて考えさせられたのだった。

★☆★昨年は、〝人の別れ〟について、厳しくすぐれた本をいくつか頂いた。労働問題の研究者・高橋菊江さんは、最愛の息子の自殺という事態にうちのめされ自責の念にかられながらも、その死の意味をつきとめることが真の鎮魂と、客観的、冷静に息子の心の軌跡をたどり、小説にした（「息子よ、母のレクイエム」＝理論社）。こうした著作をみると、まさにこれが丸岡先生の本の中にある〝個の痛みを人間の痛みへと普遍化〟したことだと納得するのだが、自分が同じ立場になったときこの勁さがあるかと反省させられる。

☆★☆弔問のとき〝慰めの言葉がない〟とよくいう。が、丸岡先生の本には〝やはり、なまの言葉は救いになる〟とある。そうかーと思いながら、私は丸岡先生にも高橋さんにも、ろくな手紙を出せずにいる。

いつもフレッシュ、キユーピーの味。

おなじみのチューブ入り、びん入りから、スティック・タイプ、ミニ・パックまで、豊富にそろったキユーピーマヨネーズ。人数や用途にあわせてお選びいただけます。オールマイティな調味料として、いろいろなお料理に応用できるマヨネーズは、オリジナルな味を楽しみたい方々の力強い味方。ちょっとした工夫でお料理の世界はもっともっと広がります。いつもフレッシュなおいしさをどうぞ。

キユーピーマヨネーズ

奥さま防災博士

お見事、晴れの表彰

11万人から45人を選んで

後藤会長から表彰状が手渡された

日本損害保険協会が募集

社団法人・日本損害保険協会（後藤康男会長）では、第十六期「奥さま防災博士」を募集していたが、約十一万の応募者の中から四十五人を選出、二十三日（土）、東京・新宿の京王プラザホテルで表彰式を行った。

この「奥さま防災博士」は、同協会が防災事業の一環として、消防庁、全国消防長会が後援。昭和四十七年から始めたもので、〝家庭の防災責任者は主婦である〟という考えのもと、家庭や地域の防災に取り組んでいる人を全国募集、選考するものだ。

〝博士〟になるには、「クイズ・ザ・防災」に全問正解し、その後、二回の防災通信講座で防災知識を取得、防災テスト、防災をテーマとしたレポートで、優秀な成績を修めることが必要だ。

今回は、第一次防災通信講座受講者二百五十三名から寄せられた防災に関するレポートを選考委員会（早稲田大学教授・安倍北夫、ジャーナリスト・松村満美子、消防庁長官・矢野浩一郎、全国消防長会々長・中條永吉、同協会々長・後藤康男の各氏で構成）が審査、四十五名が選ばれ、表彰を受けた。これで、全国で七百二十四人の「奥さま防災博士」が誕生したことになる。

この日挨拶した同協会の後藤会長は「防災の心は自分だけよりあげようという催しで、三月六日（日）、京都市社会教育総合センターの三階で午前十時から六時までにぎにぎしく開く。グループでも個人でも参加で き、参加内容は展示、劇、音楽、ニコミ販売、展示が二千円。食料品、リサイクル等は三千円。問い合わせは、ぴお亭☎075・255・0086 またはウイメンズ ブック ストア☎075・441・6905

一人一人に表彰状、記念品が後藤会長より手渡され、選ばれた四十五人の「奥さま防災博士」を代表し北海道の林有美さんが「これからも地域の防災に力を尽したい」旨の誓いのことばを述べた。

〝博士〟の一人広瀬久美子さん（岐阜県大垣市）は、三年前から、寝たきり老人を抱え、そんな中で、老人ホームの火事を知り、もし、自分の所だったら思い、ゾッとしたと言う。

「これから高齢化社会に向うことを考えると、地域の中で防災についてもっと考えていかなければ…という中からは生まれてこない。他人を思いやる心があってこそ、重要性を増すのだ」と述べ、今後も防災に対する知識をもっと広げて欲しいと語った。

来賓、選考委員の祝辞の後、「虫カゴのレンズやシリカゲルに湿気というものが、発火の原因になることが多いのです。こうした情報は、新聞などに出ていても、見すごしてしまいがち。こうしたことを地域の会合などで話したい」。

防災の日の九月一日に、お風呂を沸騰させてしまい「主婦は〝守婦〟でなければ」と言うのは、伊藤成子さん（愛知県名古屋市）。風呂場の空気口から湯煙が立ちのぼるほどなのに、家人は誰一人気づかず（飼っている犬もこの時ばかりは寝ていた）、隣人の知らせで大事にいたらなかったものの、「防災がいかに大切か、身をもって知った」と言う。

天プラをしている最中に電話に出たため発火。火事にはならなかったものの、素手でナベをつかんで庭に捨て、大火傷をおった近所の人のことを知った矢守保子さん（奈良県王寺町）は「本当におそろしい、こんなことになるとは思ってもみなかったということを聞いて、防災がいかに重要かつくづく感じた」。

このように〝博士〟に選ばれた人は、防災の大切さを自らの体験や、自分の身辺での出来ごとから感じた人ばかり。

それだけに、今後の地域防災への積極的な取り組みが期待される。

第十六期で全国に七百二十四人誕生

「とても参考になったワ」

「私の地域の防災は…」

懇親パーティでは和気あいあい

あなたがつくる女のフェスティバル

3月6日、京都市社会教育総合センターで開催

・京都の女性たちは、三月八日の国際婦人デーにあわせ、三月六日に「あなたがつくる女のフェスティバル」を開く準備をしている。参加したグループが自分たちでプログラムを作り盛ければと思っています」としみじみと語る。

百世帯もの人が住む団地で、横のつながりもなく、いざという時とても不安という、小木戸富美子さん（大分県中津市）は、「虫カゴのレンズやシリカゲルに湿気というものが、発火の原因になることが多いのです。こうした情報は、新聞などに出ていても、見すごしてしまいがち。こうしたことを地域の会合などで話したい」。

防災の日の九月一日に、お風呂を沸騰させてしまい「主婦は〝守婦〟でなければ」と言うのは、伊藤成子さん（愛知県名古屋市）。風呂場の空気口から湯煙が立ちのぼるほどなのに、家人は誰一人気づかず（飼っている犬もこの時ばかりは寝ていた）、隣人の知らせで大事にいたらなかったものの、「防災がいかに大切か、身をもって知った」と言う。

天プラをしている最中に電話に出たため発火。火事にはならなかったものの、素手でナベをつかんで庭に捨て、大火傷をおった近所の人のことを知った矢守保子さん（奈良県王寺町）は「本当におそろしい、こんなことになるとは思ってもみなかったということを聞いて、防災がいかに重要かつくづく感じた」。

このように〝博士〟に選ばれた人は、防災の大切さを自らの体験や、自分の身辺での出来ごとから感じた人ばかり。

それだけに、今後の地域防災への積極的な取り組みが期待される。

バザー、ヨガ、ディスカッションなどなんでもOK。参加することで、さまざまな活動をしている女たちに出あえるという趣向。バザーのテーブル料は、ミ

作品募集

第28回 暮らしの発明展

☆テーマは「楽しさの創造」☆

社団法人全国発明婦人協会（三木睦子会長）は、毎年、家庭用品、衣料、袋物、事務器、介護用品、機械器具、その他、日常生活の中での合理化、創意工夫した作品を募集している。

今年度のテーマは「楽しさの創造」だが、別にテーマにはこだわらなくてもよい。

応募資格は、一応女性を対象にしているが、性別、年齢、国籍、国内外の地域を問わず、会の趣旨に合うものなら受けつけるという。

審査は、三月上旬に行い、結果は、四月上旬応募者に通達。作品展示は、四月十九日～二十四日まで、東京・日本橋三越本店七階で行う。また、五月には和歌山、六月は名古屋（丸栄）、八月は大阪（大丸）、九月は福岡（岩田屋）での展示が予定されている。

優秀な作品には、特賞として〝科学技術庁長官発明奨励賞〟〝特許庁長官奨励賞〟ほか十五の賞や入賞（二十三点）がある。

出品料は一点につき三千円、募集期間は二月六日まで。

問い合せ・申し込み先…全国発明婦人協会 〒151東京都渋谷区千駄ケ谷2-32-1 松任谷ビル☎03・403・1918

お知らせ

▼性についてなんでもわかっちゃう展

期間…1月29日（金）～2月28日（日）会場中の主な催し…ビデオ上映と〝トーク&トーク・北沢杏子と語ろう〟1／31＝「あかちゃんはどこからうまれるの？」2／7＝「どうやって、あかちゃんはできるの？」14＝「どうして、あかちゃんはできるの？」21＝「男の子はなぜ生理にならないの？」28＝「どうして好きになるんだろう？」

〈シンポジウムと対談〉2月11婦選会館☎03・370・0238 申し込み…主催者宛電話で。

◆婦団連新年学習会「どうなることしの暮らし」

日時…2月6日（土）13時30分～16時 場所…東京都婦人情報センター 内容…「橋大学教授・関恒義さんの「お話」、会場からの発言 参加費…700円 主催…日本婦人団体連合会 〒151東京都渋谷区千駄ケ谷4-11-9-303☎03・401・6147

◆変わりゆく〝女の仕事〟〝男の仕事〟

日時…2月7日（日）13時～17時 会場…リンデンバウム（JR三鷹駅北口☎0422・56・0008） 内容…パネルディスカッション「男の職域にチャレンジする女たち（キャロル・オバートンさん＝大工、井上政美さん＝内装業、三井マリ子さん＝都議、荻原みどりさん＝DIYアドバイザー）、スライド、ビデオ上映、チャレンジコーナー、ポスター・パンフ展示など」 入場料…800円 主催…Handy Woman 連絡…〒197福生市武蔵野台1-5-1☎0425・53・1007

◆昭和63年度「国の婦人関係隔週水曜日、10時～12時 テーマ…ソ連のペレストロイカ（改革）を考える」 講師…東京大学教授・和田春樹さん 内容…2／3「ペレストロイカという現実」、2／17「ゴルバチョフ－新しい指導者」、3／2「ソ連史の再検討」、3／16「国際政治の新しい考え方」、3／30「展望－支持派・抵抗派」 聴講料…5000円（全5回）、申込金…1000円 主催…財団法人・市川房枝記念会 〒151東京都渋谷区代々木2-21-11婦選会館☎03・370・0238 申し込み…主催者宛電話で。

◆婦選会館講座「ヨーロッパの歴史」－近現代の思想を中心として（全10回のうち2回目）

日時…2月1日（日）13時30分～15時30分 会場…婦選会館 テーマ…「近代国家体制の萌芽と宗教改革」 講師…東京大学教授・有賀弘さん 聴講料…1100円（初回申込金100円必要） 申込方法…主催者宛電話か、所定の申込書に記入し直接申し込む 主催…（財）市川房枝記念会 〒151渋谷区代々木2-21-11婦選会館☎03・370・0238

◆外交教室－Ⅱ期

期間…2月3日～3月30日、予算案を聞く会」

日時…2月15日（日）10時～17時 場所…婦選会館 内容…総理府、文部省、厚生省、農林水産省、労働省 定員…60名（先着締切） 参加費…1000円 主催…（財）市川房枝記念会（☎03・370・0238）、日本婦人有権者同盟（☎03・370・2727）〒151東京都渋谷区代々木2-21-11婦選会館

◆「北條源氏展」－その衣装・原稿・写真などを網羅して－

会期…2月12日（金）～24日（水）※木曜休館 会場…西武アート・フォーラム（西武池袋店8階） 内容…北條秀司の劇作五十周年を記念し「浮舟」「末摘花」「明日の姫」をクローズアップしながら〝北條源氏の世界〟を華麗に繰り拡げる。懐しい舞台を彷彿させる舞台衣装、写真、ビデオなど 入場…無料

◆「いまどきの子ども」講座～見えなくなった子ども像を浮き彫りに～

期間…2月19日～3月11日、毎週金曜日13時30分～15時30分 会場…日本女子会館5階 内容…2／19「青春している子どもが見えますか」情報アナリスト・柴山順子さん、2／26「いきいき子どもはどこに」精神科医・甘粕昌子さん、3／4「ニューメディアと子ども」文部省主任社会教育官・高村久夫さん、3／11「商品になっている子どもたち」子どものテレビの会代表・鈴木みどりさん 定員…40名 受講料…2000円（4回）申込方法…往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、2月5日（当日消印有効）までに必着のこと 送り先・問い合わせ…〒105東京都港区芝公園2-6-8日本女子会館 財団法人・日本女子社会教育会 教養部☎03・434・7575。

あわせ鏡

「あわせ鏡」は、生活の中でふと思った事、社会の動きをみて思った事などを気軽に書く欄です。人の行動や社会の動き、それはそのまま自分の動きではないか？という反省の意味を含めて名づけました。

気軽で楽しく、少し辛い欄にしたいと思いますので、ドンドン原稿をお寄せ下さい。＝編集部

成人式の日に想う

今年の成人式の着物の色は、レトロ調だそうです。はでなピンクや朱色、紫は消えて、茶色うぐいす色で、落ちついて見えました。リボンが人気で、大正時代を思わせるような色のリボンを長い髪につけて－。或るテレビのインタビューで、「いくらぐらいかかりましたか？」「エーッ、百万ぐらいかな－。」

平気でそんな答えが返ってきます。大学の入学金、月謝、成人式、そして立派なホテルの結婚式の費用。誰が払うのかしら？ そして、支払った親達は、『淋しく老人ホームへと－』。でも、誰がその子を育てたの？ そんな悲しい人生にならぬよう、がんばらねば－。 子育ての方法、もう一度考えてみましょう。

子どものために－と考え犠牲的な精神のお母さんも多いなあ、と、成人式の晴れ着姿の人々を見て、喜びと幸せのかげの不安を感じました。

（東京・R）

原稿募集

ややもやした出来事があちこちで起っています。こういう時だからこそ、一人ひとりが声をあげたり、自分の考えをハッキリ言うことが大切なのです。こうした読者（読者でなくても）の声を、当紙ではドンドン掲載していくつもりです。

☆あなたの考えや活動報告、身近に起った出来事、呼びかけ、こんなことおかしいのじゃないと思ったこと、詩、短歌、川柳、風刺画ほか。

☆四〇〇字詰原稿用紙一～三枚程度。

☆氏名、年齢（書いても書かなくてもよい）、住所、電話番号を、また、所属のグループ名、住所を原稿用紙に記入し、左記へ送って下さい。

〒160 東京都新宿区西新宿三の七の二八 宝幸西新宿ビル 全国婦人新聞社編集部。

歯ッ！とする話

〈28〉

予防法にも重点が置かれる時代

最近の歯の治療

前号では、歯の治療の歴史について述べました。ずい分昔から、歯の治療について、どんなに人々が苦労し、治療が進歩してきたかがおわかりいただけたと思います。

そこで、今回は、最近の歯の治療についてお知らせしたいと思います。

近年、歯科医療に対する患者の要望の中で多いのは、見た目の美しさ。以前は目立つ前歯にも、金が使われていましたが、「歯と同じ様な色のものをつめて欲しい」という声が多く、非金属色で、自然な歯の色に似た色調の材料が好んで使われるようになりました。この傾向は、前歯だけでなく、奥歯にも見られます。

そのため、充填材としてのアマルガムにかわり、コンポジットレジンという、新しい材料がよく使われるようになりました。

コンポジットレジンには、化学反応型と光重合型の二種類があります。

光重合型は、光をあてるまで硬くならないので、成形の時間がたっぷりとれます。また、いろいろな色調のレジンを重ね合わせて、微妙な色調が出せるという利点があります。この充填材は、硬化までの時間が短い化学反応型に比べて、多く使われ、この材料の出現によって、前歯の充填は革命的に変わったと言われています。

補綴の分野では、ラミネートベニアというテクニックが注目されています。これは、エナメル質を歯の形状にそって、〇・五－〇・七㎜ほどの深さに削り、その部分に薄いシェル状の材料を接着し、修復する方法です。ここで使われる材料はポーセレン、プラスチック等があります。ラミネートベニアを用いれば、短期間に痛みもなく、審美的な治療ができ、切削する歯質は、エナメル質の範囲にとどめられるから、歯髄に対する為害作用も問題になりません。

また、インプラント（人工歯根）は、歯科技術の革新の中で、特に注目されています。主として、チタン、アルミナ・セラミックス、ハイドロキシアパタイト・セラミックスが使われています。

歯周疾患の治療では、細菌の塊、プラークをコントロールすることが、治療の主体になり、歯が抜けるのを待つだけという考えはなくなりました。

骨欠損部に補塡する生体人工材料の開発にも、目覚しいものがあります。顆粒状のハイドロキシアパタイト・セラミックスを失われた歯槽骨に埋め込むと、顆粒と顆粒の間に新生骨が再生され、周辺の骨と結合、歯の植立状況がよくなるので、注目を集めてきています。

このように、治療方法や使用される材料は非常に多岐にわたり、変化に富んだものとなっています。まだ、欠点もありますが、今後、どんどん改良が加えられ、新しいものが出てくると考えられます。

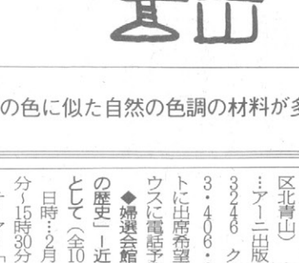
現在の歯科医療は、病気にかかったものを元に戻そうとする、修復的、補綴的治療法のほか、病気にならないようにする、予防法にも重点が置かれ、この二つの流れから成り立っています。

（資料提供 ライオン歯科衛生研究所）

見た目の美しさが問題

金の使われる時代はもう終わった

どんどん進む進歩と改良

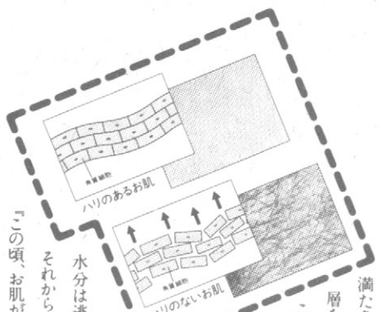


非金属で歯の色に似た自然の色調の材料が多くなった

アプティのアロエECWで、素肌にハリとみずみずしさを。

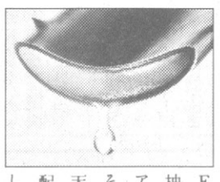
角質細胞の水分バランスを整えるバイオスティムレーターってご存じ？

若い素肌の内側（角質層）は、細胞と細胞の間が、保湿成分バイオスティムレーター（細胞賦活因子）で満たされ、その細胞もきれいな層をなし整列しています。これがハリとみずみずしさをつくる秘密なのです。ところが、バイオスティムレーターが減少すると、細胞間に隙間ができて、水分は逃げ、たるんだり、それからカサカサの荒れ肌に。『この頃、お肌が』と思いだしたら、アロエECW配合のアプティで、バイオスティムレーターの働きを補う、お手入れを！



天然のアロエから抽出した保湿成分を天然アロエと同じ濃さで配合しました。

ECWとは、キダチアロエから抽出したエッセンス。アプティにはそのエッセンスが、天然のアロエと同じ濃さで配合されています。したがってナチュラルな保湿成分バイオスティムレーターが、素肌の内側に働きかけ、細胞の代謝も活発に。そのうえアプティは、無着色、微香性、お肌にやさしい弱酸性。自然の恵みを生かすことで、素肌年齢をコントロール。毎日のお手入れで、気持にもハリとみずみずしさが。



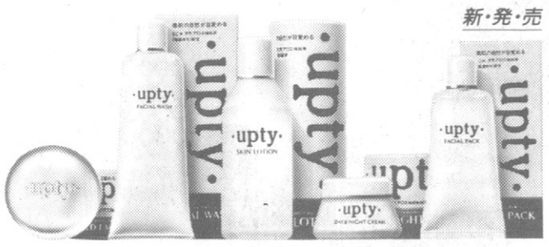
素肌の自然が目覚める

·upty·

アプティ

ECW：天然アロエ抽出液（保湿成分）配合

新・発・売



●アプティ マイルドフェイシャルソープ（アロエECW配合・コラーゲン配合）100g・1,400円 クリーミィな泡立ちでスッキリ洗いあげる、低刺激の透明洗顔石けん。 ●アプティフェイシャルウォッシュ（アロエECW配合）120g・1,800円 皮フと同じ弱酸性・アミノ酸ベースなので肌に低刺激。洗い上がりはつっぱらず、2度洗いでメイクまでスッキリ落ちます。アミノ酸系洗顔料。 ●アプティスキンローション（アロエECW配合）150ml・2,500円 清涼感あふれるしっとりとした使い心地。 ●アプティ デイ&ナイトクリーム（アロエECW配合・ツ・オリザノール（米胚芽抽出）配合・ビタミンE配合）50g・3,000円 医薬部外品 サラッとしたのびの良い使い心地。朝はデイクリーム、夜はナイトクリームとして、乾燥しがちなお肌に。 ●アプティフェイシャルパック（アロエECW配合）80g・2,000円 肌に均一に密着し、角質片や老廃物、よごれなどを、スッキリ、サッパリ、後にしっとりとした感触を残します。

ライオンの基礎化粧品
ライオン株式会社